

ICTを活用した 不登校支援



令和3年10月28日 足立区総合教育会議

こども支援センターげんき 教育相談課長 楠山 慶之
あすテップ指導員 佐々木 美苗

目次

(1) ICTを活用した不登校支援の概要

- ア 支援の3つの柱
- イ オンライン授業の実施への手順
- ウ チャレンジ学級とあすテップ
- エ オンライン授業で広がる選択肢

(2) 授業風景



動画で紹介
します

(3) 指導員の感想、課題

ICT支援の3つの柱

「学習支援」「相談支援」「学習評価」を3つの柱とし、全ての不登校児童・生徒に学びの機会を提供できる仕組みづくりを目指す。

学習支援

●自宅からの授業参加（オンライン授業）

- 別室登校支援に対するICTの活用
- 学校以外の居場所でのICT学習支援

学習評価

- 学校以外の居場所での学習活動を評価

相談支援

- 学校におけるICTを活用した教育相談
- ICTを活用した自宅からのオンライン教育相談

※学校以外の居場所…自宅、チャレンジ学級、あすテップ等 3

オンライン授業の実施への手順

自宅にリアルタイムで授業を配信し、教室外からも、教室内で受ける授業に近い状態で学ぶことができる環境を整えます。

■オンライン授業実施に向けた段階

STEP 1

チャレンジ学級⇔あすテップ
チャレンジ学級⇔自宅

STEP 2

チャレンジ学級

⇔学校内の別室

STEP 3

学校（教室の授業）

⇔自宅

最終目標

自宅から学校の授業に参加できる環境を構築

10月から実施

チャレンジ学級とあすテップ

	あすテップ	チャレンジ学級
①目 的	在籍校への復帰にとらわれない学習支援 社会的自立に向けた集団活動	学校復帰をめざした学習支援
②指導場所	学校内	学校外
③支援内容	学校に準じた登校時間 学校施設の活用、給食実施	柔軟な登校時間、個別指導 コミュニケーション中心の支援も可
④制 服	在籍校の制服着用	制服でも私服でもOK
⑤在 籍	在籍校から通級（転校しない）	
⑥対 象	中学生（学校内での指導に抵抗がない）	小中学生（学校外での支援の希望者）
⑦教 員	退職非常勤教員（都費）、会計年度任用職員（区費）	
⑧指導内容	学校の教育課程に近い （不登校特例校をめざした検証実施。特例校と類似の内容）	規定なし
⑨学習の評価	評価は行わない（在籍校に情報提供）	

オンライン授業で広がる選択肢

【従来】①チャレンジ学級（綾瀬の例）

校時	学年	月	火	水	木	金
チャレンジタイム		9：00～9：30				
1	3	国語	数学	社会 歴史	英語	国語
	1・2	英語			国語	数学
休憩		10：20～10：30				
2	3	英語	理科	理科	国語	数学
	1・2	国語			英語	国語
チャレンジタイム		11：30～12：00				
昼食・昼休み		12：00～13：00				
3	全	数学	文化芸 術	数学	社会 地理	読書
休憩		14：00～14：10				
4	全	自習	天声 人語	卓球	天声 人語	卓球

各所からのオンライン授業により、生徒が選択可

【追加】②オンライン授業

校時	月	火	水	木	金
チャレンジ、あすテップタイム					
1	【な】 英語	【な】 英語	【綾】 社会 (歴史)	【な】 英語	
休憩					
2			【な】 国語		【西】 国語
					【な】 英語
チャレンジ、あすテップタイム					
昼食・昼休み					
3	【竹】 社会			【西】 理科	
	【な】 社会			【竹】 理科	
休憩					
4	【西】 社会	【は】 社会			【は】 理科

【な】 あすテップ なでしこ 【は】 あすテップ はなほ
【西】 チャレンジ 西新井 【竹】 チャレンジ 竹の塚 【綾】 チャレンジ 綾瀬

①と②の組み合わせで 支援の選択肢が拡大

- オンライン授業は【】の各教室から配信。

⇒ 各学年共通、一斉授業に対応できる科目で開始

- 各教室（自宅からもOK）のタブレットPCから参加可能
- 個別学習が必要な（オンラインを希望しない）生徒は各教室の授業を受講。

(参考) 不登校支援におけるICT活用実施計画 体系図

不登校支援における ICT 活用実施計画 体系図

